

新発田をもっと好きになるフリーマガジン「街角こんばす」

Compass 11

Free Magazine
November 2013
Vol.121

CONTENTS

- 4 菊水通信 大人の嗜み
- 5 47RONIN×47RAMEN
- 10 特集
忠臣蔵。
- 19 Spiral Life ~終わりのないシバタへの旅~
第27回 写真の歌
- 20 今月のとびつきり
金魚台輪餅さ
- 21 れこめん道
- 22 寺日和 ~長徳寺の記憶~
第27回 チョコとラーメンの郷部安兵衛
- 23 塩津潟と都岐沙羅柵のロマン
- 26 なべちゃん健康通信
- 27 街角いいたいほ~だい
- 28 せんたく屋のおやざい
- 29 クーボンコーナー
- 30 クイズ&プレゼント
- 31 しば犬しば猫

義に生きて 安兵衛を偲ぶ

郷部安兵衛生誕の地である新発田市には、
安兵衛ゆかりの場所があちこちに残されている



忠臣蔵。

47RONIN×47RAMEN

Compass

2013.11.1 VOL.121

編集 撮影:子守イン/寺田 雄一(寺田デザイン事務所)
撮影場所/らーめん家 和志

STAFF
発行人/副編集長/西村 純子
編集/特集:子守イン/寺田 雄一(寺田デザイン事務所)
デザイナー/A.I.

塩津潟と都岐沙羅柵のロマン

伊藤 國夫

〈第6回〉都岐沙羅柵と新潟県の歴史

都岐沙羅柵は「日本書紀」にも記
述されているため、大学の研究者もよ
うやく取り上げるようになりまし
た。特に昨年は越後国博覧会も
いるなイベントが行われたほか、新潟
県立歴史博物館では「古代の越後国
古志」と題した企画展を開催する
予定です。

都岐沙羅柵が、新潟県胎内市に存
在したという説はいくつもあります。
①新潟県立国史館長 齊藤秀平氏
の論文、②小野まこと氏の「都岐沙
羅柵」③池田哲二氏「越後古代史之
研究」④藤本三郎氏は「塩津」と記
他、各市町村史の防人(さきもりの)
記事。以上の各研究ではいずれも新
潟県胎内市の越前之宮(美ひとかこ
山)大塚山(城の山)古墳や縄はるま
山古墳等、塩津潟周辺に集中している
ことがわかります。また新発田市で
は、国史館長を祀る五十公野の古

四王神社を金山の願丈山の麓の防人
説が関連しています。

大和政権と新潟県が密接な関係に
あったことが、胎内市大塚のひとかこ
山古墳等、新発田市五十公野の古四
王神社の存在で明らかになりました。
私は新潟国史館新潟大学の開講講座
「越後古代史の最前線」を月に受講
しました。講師の藤本氏は「新潟県
は文字資料が多く出土して、古代
の様子が明らかにできていく」と
話されていました。また胎内市に越前
の「塩津柵」を示す「石連環」と記され
た木簡が出土しています。胎内市から
も多くの木簡が出土して、それが今
後の発掘調査で「都岐沙羅柵」と記さ
れた木簡が出土することを期待して
います。

「塩津潟と都岐沙羅柵」についての
研究は、度々地元の高松大学を中心
に文化祭等を通じて盛況を挙げて
います。故郷新発田市では平成21年
から開催し続けて参加しています。今
年の第23回紀行では、「塩津潟と
ひとかこ山古墳」を主題として開催し
ました。多くの市民や県民の皆さん
に「塩津潟と記された古墳国や塩
津潟と都岐沙羅柵に関係」する研究
の成果を報告していただきました。



【ひとかこ山古墳(城の山古墳)】
[BIM祭りの日・30号より]



伊藤 國夫
新潟県新潟市青森町所長
高松大学「新発田市」
研究センター「発掘調査」
主任文化保護士